

2025 年 2 月 16 日 午前 10 時 30 分

降誕節第 8 主日 主日礼拝

司会 手塚福治
奏楽 金井文子

讚美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のあきつ)

前奏

招きのことば ゼカリヤ書 14:6-9a

讚美歌 59(1-3)「この地を造られた」 一同
交読詩編 119:9-16(P.135/131)

祈り 司会者

《関東教区お祈りカレンダー》
熊谷教会 行田教会 愛泉教会
(主の祈り)

讚美歌 115「朝ごとに主に祈る」 一同

聖書 旧約:イザヤ 30:20-21(P.1108)
新約:使徒言行録 5:27-32(P.222)

メッセージ『死ぬ日まで天を^{そら}をあおぎ』

祈り 川上 盾 牧師

讚美歌 545(1,3,6)「まことの神」 一同

献金 一同
(献金感謝の祈り)

信仰告白(ニケア信条) 一同

頌栄 352(4)

祝禱 川上 盾 牧師

後奏

報告・紹介

＜招きのことば＞ゼカリヤ書 14:6-9a

その日には、光がなく、冷えて、凍てつくばかりである。しかし、ただひとつの日が来る。その日は、主にのみ知られている。そのときは昼もなければ、夜もなく、夕べになっても光がある。その日、エルサレムから命の水が湧き出で、半分は東の海へ、半分は西の海へ向かい、夏も冬も流れ続ける。主は地上をすべて治める王となられる。

《2月礼拝当番》 廣瀬一寛 徳島恵子
猿谷富子 岩渕育雄
齋藤眞理子 (大倉武子)

《今週の集会・行事》

- ◎ 本日礼拝後 “教会源 10”
- ◎ 本日 15:00 群馬地区委員会(緑野)
- ◎ 本日まで 関東教区雪堀ツアー
- ◎ 17 日(月) 牧師、共愛学園中高礼拝
- ◎ 18 日(火) 牧師、育心こども園
- ◎ 19 日(水) 地区婦人部新旧役員顔合わせ
- ◎ 20 日(木) 10:30 婦人会例会(“ピザマジ”)
- ◎ 21 日(金) 10:00 会堂清掃 C 組
- ◎ 21 日(金) 10:30 地区教師会(高崎)

《次週の主日》

◎ 主日礼拝 10:30
メッセージ『値せぬものなれど』
聖書:旧約:列王記下 5:9-14(P.584)
新約:マタイ 15:21-31(P.30)
讚美歌 61(1-3), 120(1-4), 77, 61(4)
交読詩編 103:1-13(P.115/111)

司会:廣瀬眞理 奏楽:木戸恵美子

- ◎ M's café & ミニバザー
- ◎ CS午後礼拝 13:00 CSスタッフ会

《予告》

- ◎ 3 月定例役員会 3/2(日)礼拝後
- ◎ トーク&ハーブのつどい 3/29(土)14:00

《報告》

◎ 永山友美子さん トーク&ハーブの集い (3/29)

心に沁みるトークと美しいハーブの調べ。素晴らしいイベントになることでしょう。先週よりチラシ・整理券の配布を始めました(係:伊藤愛子さん)。2024 年度最後の伝道の計画です。お知り合いの方を教会にお誘いしましょう! 教会員・関係者の方で、「来たけれど交通手段がない!」という方は、岩渕デボラさんまでご相談下さい。送迎の手配を考えて下さいます。

◎ 月定献金は年度内にお届け下さい

前橋教会ではコロナの期間も教会会計は特に滞ることなく、皆さまのお支えによって教会活動を続けることができました。しかし今年度(2024 年度)は、現時点で少し苦戦しております。教会財政の基本は月定献金です。年度内にお届け下さるようお願いいたします。また、オンライン礼拝の方にも席上献金のご協力をお願いしてきました。今後も引き続きご協力いただければご協力いただければ幸いです。

◎ オンライン礼拝の参加者アンケート

前橋教会ではオンライン礼拝参加者も礼拝出席者としてカウントしています。どのような方々がどんな形でオンライン礼拝に参加しておられるかを知りたいと思い、アンケートを行なっています。あくまで状況把握のためのアンケートで、他の目的のために使うことはありません。教会員はもとより、教会員以外の方にもご協力いただければ幸いです。オンラインで簡単に回答できるフォームがあります。詳しくはホームページをご覧ください。

◎ 新年度のお花当番

2025 年度の1年間の当番表を作成しています。新たにお花当番に加わって下さる方は、ぜひお申し出下さい。植松みよさんまで。

《先週の集会》

	礼拝堂	オンライン	献金
主日礼拝	39	20	17,836

《メッセージ》「たとえて語る理由」 川上牧師

イザヤ 8:8-12, マタイ 13:10-17(2月9日)

▼私の礼拝メッセージへの感想として「分かりやすいです」と言っておられる方が、とてもうれしいご意見である。井上ひさしではないが「むづかしいことをやさしく語り」と努力している。とは言え、聖書のメッセージは何も予備知識を持たない人に伝えるのは至難の業である。そんな時に有効なのがたとえ話だ。▼イエスもたとえ話を数多く語られた。(全部で60余り、物語形式のものが40ほど) イエスの元集まった「無学な庶民」に対し、律法学者たちのように「上から目線」ではなく、分かりやすいようにと譬えて語られたのだ。▼譬えて語るイエスの姿に、庶民に寄り添って神の国の福音を伝えようとする思いを感じてきた。ところが今日の新約の箇所にはそんなイエスのイメージを損なうようなことが書かれている。弟子たちが「なぜあの人たち(庶民)には譬えて話されるのですか?」と問うたのに対し、返答として記されたのが今日のイエスの発言だ。▼「あなたがた(弟子)には天の国の秘密を悟ることが許されているが、あの人たち(庶民)には許されていないからだ」とイエスは言われる。何となく、「庶民は理解する力がないので、譬えて分かりやすく話してやるのだ...」といった「上から」の発言にも思えてしまう。▼続く言葉はさらに辛辣だ。「(彼らは)見ても見ず、聞いても聞かず、理解できない」と語り、イザヤの「彼らは目で見ることなく、耳で聞くことなく、心で理解せず、悔い改めない」という言葉を引用されているのだ。▼もとのイザヤの言葉もまた不思議な言葉である。神の言葉を「預かり語る」預言者としての召命を受けたイザヤに対して、神は言われる。「この民の心を頑なにし、耳を鈍く目を暗くせよ。悔い改めて癒されることのないために」。私たちが普通「救い」と考えるのとは真逆のことが語られている。これはどういうことなのだろうか? ▼ここには預言者が引き受けなければならぬ、ある種の宿命的な「重さ」が表されていると思う。預言者は、悩みには慰めを、絶望には希望を語る。しかしそれだけではなく、傲慢を戒め、自己中心的なあり方を厳しく咎める言葉も語る。それは万人が喜んで聞ける言葉ではない。それでも、示された神の真理を語れ、と主は命じられるのだ。▼分かりやすい話が、必ずしも受け入れられるわけではない。イエスのたとえ話の中にも、内容は分かりやすいが、実行するのは難しいと感じる教えもある。例えば100匹の羊の譬え。私たちに感動を与える羊飼いの姿だが、自分が同じようにできるかという、疑問符が付く。▼今日の聖書のメッセージをどう受けよいか。イエスに倣って譬えて語ってみよう。【聖書の教えは「甘いケーキ」とは限らない。それは甘くも「苦い野菜」「小骨の多い小魚」のこともある。誰もが心地よく聞けるとは限らない教えの言葉...。それらを避けて感謝していただくことによって、私たちの魂は健康に養われる...そう思って聖書を読むことが大切だ。】